

## 子どもの便秘① ～子どもの便秘が増えている？～

4月は進級や進学の子供です。生活環境が変化するために、子どもに便秘が発生しやすい時期だといわれます。近年、当院でも便秘で外来通院するお子さんが増えてきました。子どもをとりまくライフスタイルの変化がその原因だと考えられますが、適切な処置をしないと慢性便秘となり「巨大結腸症」や「遺糞症」の状態になったり、大人の慢性化につながります。**チェック項目のうち2つ以上が1～2か月以上続く場合、治療が必要な便秘(便秘症といえます)です。**その場合は、早急に医療機関を受診して適切な治療を受けるようにしましょう。

### チェックしてみよう！

- うんちの回数が1週間に2回以下
- おむつがはずれたあと少なくとも週に1回うんちのおもらしがある
- トイレが詰まるくらいの大きなうんちがでたことがある
- うんちをするとき痛みを伴ったり、硬いコロコロのうんちがでる
- 過去に病院で便秘と診断されたことがある

### 4月の感染症情報

ヒトメタニューモウイルス感染症と感染性胃腸炎が市内の保育所、幼稚園で流行しています。感染性胃腸炎の一部のお子さんの糞便からノロウイルスが検出されています。

次回は便秘を放置するとどうして慢性便秘になるのか、そのメカニズムについてお話します。

## シリーズ キッズケア・青い鳥がめざす保育 ②

～ 発達を学び、発達の一步前の活動を知ることで、発達を促す保育を！～

### 生後2か月ごろ ～あこがれの心～

この頃の子どもたちは、体を思い通りに動かせません。心の窓が開き、いろいろな刺激が入ってくることで、見たい、触りたいなど願いがおこる半面、できない**悩み**や葛藤もうまれてきます。

“発達は子どもの  
願いから始まる”  
白石正久著より

大好きな  
お母さんの声  
お母さんの顔

反射によってや  
首を思い通りに  
動かせない



お母さんの  
顔が見たい  
でも見れない

2か月の赤ちゃんは、遊んであげればあげるほど楽しい反応が返ってきます。

☆ 願いの強さが悩みを乗り越えるバネになる

↓  
**発達**

初めて出会う快が  
発達につながります。

抱っこしてあやす・喃語に返事して話しかける・音の出るおもちゃを目の前で動かすなど、赤ちゃんに接する大人も、笑顔でスキンシップを取りながら、楽しい反応を楽しんでください。

次回は4ヶ月頃をします。

### 4月のご利用状況

4月の利用延べ人数は93名、一日平均利用人数は4.6人でした。年齢別では、1歳児が43名(46%)で最も多く、次いで0歳児22名(24%)、2歳児の17名(18%)の順でした。疾患別では、急性上気道炎が31名で最も多く、感染性胃腸炎30名、ヒトメタニューモウイルス感染症19名の順でした。感染性胃腸炎では0歳児が多く、下痢が長引いて利用日数が長くなるケースがありました。